



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1008 2016 年 1 月 12 日



新年のごあいさつ

一般社団法人電波産業会
会長 長 榮 周 作

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素から当会の事業に対し格段のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。お蔭さまで昨年も当会の業務のいずれも順調に推進し、昨年5月には創立20周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様方並びに総務省をはじめ関係団体のご支援、ご協力の賜物であり、改めて深く感謝する次第でございます。

新年にあたり電波産業会を取り巻く動向に目を向けますと、通信分野におきましては、いよいよ国内各社で第4世代移動通信システム（LTE-Advanced）のサービスが順次本格化し、一層の高速サービスを楽しむようになります。さらに、第5世代移動通信システム（5G）の実現を目指すべくオールジャパン体制で設立された「第5世代モバイル推進フォーラム」の活動が本格化し、世界各国の標準化機関や団体と連携し、早期の国際標準化に向けての活動が活発化してまいります。なお、5Gに向けた追加の周波数分配については、昨年11月のWRC-15（2015年世界無線通信会議）において次回WRC-19の重要な議題として採択され、引き続き検討が進められることになりました。

また、放送分野におきましては、昨年3月から4K放送による初の実用放送が衛星とケーブルテレビ分野で開始され、2020年には国内各家庭でオリンピック・パラリンピックが迫力ある4K・8K放送で楽しめるよう取り組みが進められる中、当会では、昨年末に本年開始予定の8K試験放送に併せて明暗のコントラストをより忠実に再現するHDR技術の導入や、映画館並みの音響を実現するマルチチャンネル音声技術に関する標準規格の策定を行いました。今後とも4K・8K放送の本格的な放送のため様々な活動を行ってまいります。加えて、地デジ日本方式であるISDB-Tの国際普及については、新たにボツワナ共和国での実用放送が開始され、フィリピンでも着々と制度整備などが進められております。昨年8月には関係者のご尽力を得、新たにニカラグアでの採用が決定し、海外での採用国は17ヶ国となりました。引き続き、採用国での円滑な放送実現のためにきめ細かな支援を実施してまいります。

一方、ITSについては、700MHz帯の車々間通信システムを搭載した自動車の販売が開始されるなど、自動運転の実現が着実に近づきつつあることを実感いたしております。当会が事務局を務めるITS情報通信システム推進会議では、自動車工業会の要請を受けて「自動運転向け通信方式」についても検討を行っており、車両でのシミュレーションを想定した各種パラメーターなど、具体的な検討をさらに加速してまいります。国際的にも、700MHz帯におけるITSのARIB標準がITU-R勧告として昨年10月に定められ、またWRC-15では、自動運転や歩行者事故低減に期待できる79GHz帯高分解能レーダーのための周波数分配が決定しました。さらに、WRC-19の議題として「ITS Application」が採択されたことで、今後、関連省庁・団体と連携して日本の先進的なITS技術の国際標準化を目指して活動してまいります。

電波利用システムの技術革新は止まることを知らず、関連の製品は生活に深く溶け込んでいます。電波技術によって、さらに豊かな国民生活を実現するために、本年も電波利用システムの調査・研究・開発、標準規格の策定、普及啓発、電波利用コンサルティングなどの諸事業を積極的に推進してまいります。引き続き会員皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

ARIBからのお知らせ

第 27 回電波功績賞候補者の推薦依頼について

当会は、通信・放送分野における電波利用に関する調査研究、研究開発、標準規格策定、普及啓発等の事業、電波を有効に利用するための照会相談業務等のコンサルティング、関連外国機関との調整・協力等の事業を実施しております。電波の有効利用の普及を推進するため、電波の有効利用に関して特別の功績を上げた個人又は団体に毎年「電波功績賞」を授与しています。

第 27 回電波功績賞候補者の推薦について、昨年 12 月 16 日、会員各位あて電子メールにてご案内いたしました。また、[ARIB ホームページの「お知らせ」](#)にも掲載しています。

会員各位の多数のご推薦をお願いいたします。

第 98 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

2015 年 12 月 3 日に開催された第 98 回規格会議の決議に基づき、以下の標準規格の策定 2 件、改定 15 件、技術資料の策定 1 件、改定 4 件の電子ファイルを ARIB Web サイトに公開しましたのでお知らせいたします。

- 1 市町村デジタル移動通信システム(SCPC/4値FSK方式)標準規格
(ARIB STD-T116 1.0版)

- 2 特定小電力無線局ミリ波レーダー用無線設備標準規格
(ARIB STD-T48 2.2版)
- 3 携帯型無線端末の比吸収率測定法標準規格
(ARIB STD-T56 3.3版)
- 4 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical
Report (ARIB STD-T63 / ARIB TR-T12 Ver.11.20)
- 5 OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARD
(ARIB STD-T95 Ver.3.4)
- 6 LTE-Advanced System ARIB STANDARD
(ARIB STD-T104 Ver.3.20)
- 7 ワイヤレス電力伝送システム標準規格
(ARIB STD-T113 1.1版)
- 8 超高精細度テレビジョン信号スタジオ機器間インタフェースにおけるタイムコード
フォーマット標準規格(ARIB STD-B68 1.0版)
- 9 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格
(ARIB STD-B10 5.7版)
- 10 デジタル放送用受信装置標準規格 (望ましい仕様)
(ARIB STD-B21 5.7版)
- 11 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格
(ARIB STD-B24 6.2版)
- 12 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格
(ARIB STD-B32 3.5版)
- 13 デジタル放送におけるMMTによるメディアトランスポート方式標準規格
(ARIB STD-B60 1.5版)
- 14 デジタル放送におけるアクセス制御方式 (第2世代) 及びCASプログラムのダウンロー
ド方式標準規格(ARIB STD-B61 1.2版)
- 15 デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式 (第2世代) 標準規格
(ARIB STD-B62 1.3版)
- 16 高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置標準規格 (望ましい仕様)
(ARIB STD-B63 1.4版)
- 17 UHDTVマルチフォーマット・カラーバー標準規格
(ARIB STD-B66 1.1版)
- 18 超高精細度テレビジョン番組制作用ディスプレイの色域包含率計算法技術資料
(ARIB TR-B36 1.0版)
- 19 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料
(ARIB TR-B14 6.0版)
- 20 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料
(ARIB TR-B15 6.9版)

21 デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定技術資料
(ARIB TR-B32 1.4版)

標準規格等の電子ファイルのダウンロードが初めての方は、以下のURLにある注意事項等を確認の上、行って下さい。標準規格等一覧も、このページからご覧になれます。

http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html

また、IPR 検索サービスについては、今回の規格会議に関する IPR 情報を近日中に更新する予定です。この検索サービスは以下の URL でご利用いただけます。

<http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/sakutei/IPR/index.php>

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

平成27年度上期に実施した「標準規格等の英語翻訳」の成果として、7件の英語翻訳版を公開しました。

1. 通信分野

規格番号等		標準規格名等
STD-T48	2.1 版	特定小電力無線局ミリ波レーダー用無線設備標準規格
STD-T91	2.0 版	UWB(超広域)無線システム標準規格
STD-T106	1.0 版	構内無線局 920MHz 帯移動体識別用無線設備標準規格
STD-T107	1.0 版	特定小電力無線局 920MHz 帯移動体識別用無線設備標準規格
STD-T112	1.4 版	特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備(TV ホワイトスペース帯、特定ラジオマイク専用帯、1.2GHz 帯)標準規格

2. 放送分野

規格番号等		標準規格名等
STD-B44	2.0 版	高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式標準規格
TR-B33	2.3 版	VHF-High 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものであることを示します。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

電波環境協議会 第 13 回技術講演会を開催

昨年 12 月 21 日（月）に、電波環境協議会 第 13 回技術講演会を当会の会議室にて開催しました。

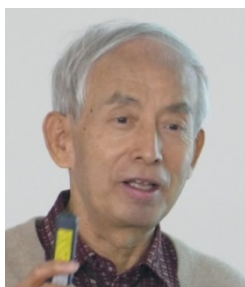
今回は、電波環境協議会の妨害波委員会、イミュニティ委員会の両委員会において昨年度実施された調査研究活動の成果報告 2 件と、C I S P R アーカイブス活動の成果について講演を実施いたしました。ここで、C I S P R アーカイブス活動とは、これから C I S P R の規格策定を担う世代のために、規格策定の比較的初期からの変遷と背景をまとめる活動です。

妨害波委員会の調査研究報告は、「CISPR15 における円錐形金属ハウジングの課題検証の調査報告」で、一般社団法人日本照明工業会の平伴 喜光様にご講演いただきました。イミュニティ委員会の調査研究報告は、「CISPR 35 草案の可聴雑音評価方法における修正提案の検討と調査研究」で、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会の青谷 嘉久様にご講演いただきました。C I S P R アーカイブス活動報告は、「妨害波に関する許容値の根拠について」で、東北大学 名誉教授 杉浦 行様にご講演いただきました。

当日は、約 50 名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、活発な質疑応答が行われました。講演資料は、電波環境協議会の会員向けのホームページで公開予定です。



電波環境協議会 第 13 回技術講演会の様子



杉浦 行様



青谷 嘉久様



平伴 喜光様

第 136 回電波利用懇話会を開催 「2015 年世界無線通信会議（WRC-15）結果の概要について」

昨年 12 月 22 日（火）に、第 136 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課国際周波数政策室 新田室長を講師にお迎えし、「2015 年世界無線通信会議（WRC-15）結果の概要について」と題してご講演いただきました。ご講演では昨年の 11 月にスイスのジュネーブで開催されたばかりの WRC-15 に関して、会議の結論はもちろん、現地での議論の様子など、非常にホットな話題について分かりやすくご紹介いただきました。

当日は、80 名弱の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、WRC-15 での周波数割り当てを踏まえた今後の取組み方針や、WRC-19 の議題の意図等について、活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料につきましては、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html> において公開しております。



第 136 回電波利用懇話会の様子と講師の新田様

今週の ARIB 内会合（1 月 12 日～1 月 15 日）

1 月 12 日（火） スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班

1 月 12 日（火） 高度無線通信研究委員会 第 12 回モバイルコマース部会

- 1月13日（水） スタジオ設備開発部会 主任会議
1月13日（水） 第224回業務委員会
1月14日（木） デジタル放送システム開発部会 HTML-TG

今週の国際会合（1月12日～1月15日）

1月14日（木）～15日（金） 日ペルー地デジICT国際セミナー（リマ、ペルー）

総務省からのお知らせ

電波法施行規則及び無線局免許手続規則の一部を改正する 省令案等に係る意見募集 ー携帯電話等の利用の拡大に係る関係規定の整備ー

【平成27年12月17日発表】

総務省は、自然災害時等における基地局及び陸上移動中継局の置局範囲の拡大並びに外国の無線局の運用の円滑化等のため、電波法施行規則等の一部改正案を作成しました。

本改正案について、平成27年12月18日（金）から平成28年1月21日（木）までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【平成27年12月17日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

陸上無線通信委員会 報告（案）に対する意見の募集 ー「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち 「特定小電力無線局の高度化に係る技術的条件」ー

【平成27年12月18日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査:安藤 真 東京工業大学 理事・副学長（研究担当） 産学連携推進本部長）は、平成27年5月から「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「特定小電力無線局の高度化に係る技術的条件」について検討を行ってきましたが、このたび、陸上無線通信委員会報告（案）を取りまとめました。

本報告案について、平成27年12月19日（土）から平成28年1月22日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【平成27年12月18日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案に係る意見募集
－1.2GHz 帯、2.3GHz 帯及び 120GHz 帯を使用する
放送事業用無線局に関する審査基準の改正－

【平成 27 年 12 月 22 日発表】

総務省は、1.2GHz 帯、2.3GHz 帯及び 120GHz 帯を使用する番組素材の中継を行う移動業務の無線局に関する電波法関係審査基準（平成 13 年 1 月 6 日総務省訓令第 67 号）の一部を改正する訓令案を作成しました。

本改正案について、平成 27 年 12 月 23 日（水）から平成 28 年 1 月 28 日（木）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 27 年 12 月 22 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

ワイヤレス電力伝送システムの高周波出力の
測定方法の一部を改正する告示案に係る意見募集

【平成 27 年 12 月 24 日発表】

総務省は、昭和 34 年郵政省告示第 851 号（無線設備規則第 58 条の 3 の規定による高周波利用設備の高周波出力の測定及び算出方法）の一部を改正する告示案を作成しました。

本告示案について、平成 27 年 12 月 25 日（金）から平成 28 年 1 月 28 日（木）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 27 年 12 月 24 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も ARIB ニュースをどうぞよろしくお願いいたします。

ARIB 近辺の南関東では天候にも恵まれ、穏やかな年末年始を過ごすことが出来ましたが、皆様はいかがでしたでしょうか。

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。 (S.T.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp